

はしご・脚立からの 墜落、転落災害を防止するために！



STOP！労働災害

作業中に7人の方が死亡しています。(平成27年1月～平成29年9月)

北海道内では、はしご・脚立を用いる作業中に**墜落、転落により、死亡災害が発生しています**。その原因は、はしごの不適切な使用及び不安定な状態での脚立の使用によるものです。

はしご・脚立を安全に使用していただくために、このリーフレットを作成しましたので参考にしてください。

はしごの安全な使用のポイント

はしごの上部・下部の固定状況を確認して下さい。
(固定できない場合、別の者が下で支える)。
足元に、滑り止め(転位防止措置)をして下さい。
はしごの上端を上端床から60cm以上突出させて下さい。
はしごの立て掛け角度は75度程として下さい。
墜落した時などに頭部を保護するため、ヘルメットの着用が有効です。



しっかり固定！

60cm以上
上方にだす

立てかける位置は
水平で、傾斜角75°
突き出し60センチ
以上となっている
ことを確認



75°

滑り止め

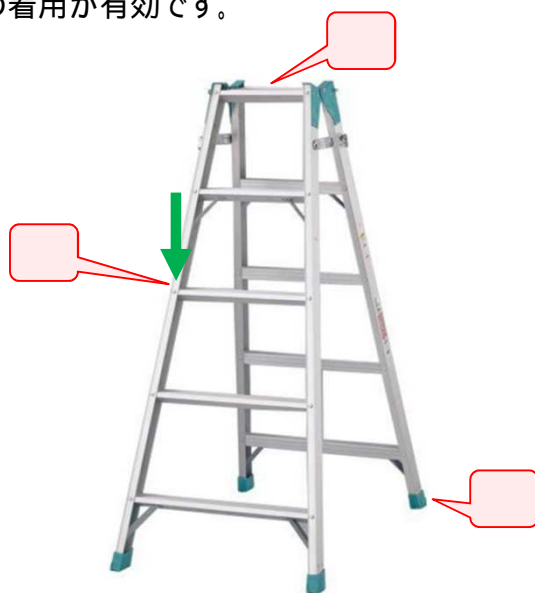
指差し呼称のポイント

「突き出し60センチ、75°立てかけ ヨシ！」

出典：「シリーズ・ここが危ない 高所作業」中央労働災害防止協会編

脚立の安全な使用のポイント

不安定になるので天板の上で作業しないで下さい。
天板から2段目以下の踏さんを使用して下さい。
凸凹した場所や傾斜のある場所では使用しないで下さい。
身を乗り出したり、頭の真上での作業はしないで下さい。
脱げやすい又は滑りやすい履物などは履かないで下さい。
荷物を持つての昇降はしないで下さい。
墜落した時などに頭部を保護するため、ヘルメットの着用が有効です。



北海道内において発生した死亡労働災害事例

(平成27年1月～平成29年9月末現在)

脚立

1 脚立に立ちバランスを崩す

【事例】洗濯物を干すため脚立に立ち(46cm)作業したところ、バランスを崩して墜落し、臀部を強打。

2 脚立に立ちバランスを崩す

【事例】事務室の天井裏にある空調設備の調整のため、脚立に立ち(約1.2m)作業中、バランスを崩して墜落し、後頭部を強打。

3 体勢を崩し、墜落する

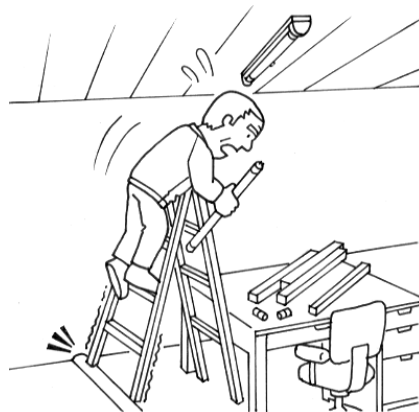
【事例】高さ1.1mの脚立を用いてバスの窓ふき作業中、バランスを崩して墜落し、頭部を強打。

北海道内では、平成28年の1年間に、はしごや脚立を用いた作業中、292人の方が4日以上休業しています。

正しい使い方をしましょう!



脚立がぐらつきバランスを崩した。



脚立がぐらつきバランスを崩して飛びおりた。



脚立がぐらつきバランスを崩した。

はしご

1 脚部を固定していた枕木が破損する

【事例】壁に長さ約7.4mのはしごを立て掛け、そのはしご上で塗装作業中、はしごの脚部を固定していた枕木が破損し、はしごが倒れて墜落。

2 はしごを降りる際バランスを崩す

【事例】はしごを庭木の剪定のため、木に立て掛け枝払い作業後、はしごを降りる際、バランスを崩し2.0m下に墜落。

3 はしご作業中バランスを崩す

【事例】2階の窓掃除のため、はしごを立て掛け作業中、体勢を崩し4.0m下に墜落。

4 はしごを降りる際、踏み外す

【事例】立木にはしごを固定して幹上部を切断作業後、はしごを降りる際に踏みさんを踏み外し、約5.0m下に墜落。